

二〇二四年度 トキワ松学園高等学校入学試験

**国語第一回**

問題用紙

受験番号

開始と同時に受験番号を  
書き入れなさい。



次の①～⑤の——線のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の——線の漢字は読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 能力のゲンカイを見極める。
- ② 子供の成長のカテイを記録する。
- ③ 一週間でカクダンの進歩を遂げた。
- ④ 味にテイヒョウのある店だ。
- ⑤ 地域にミツチャクした経営をする。
- ⑥ 新たな赴任先へ旅立つ。
- ⑦ 要点を抜粹してまとめる。
- ⑧ 入会は随時受け付けます。
- ⑨ バイオリンの音色が魅惑的だ。
- ⑩ 邦画の名作を鑑賞する。

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。(問いの下の数字は、本文での行数を示します。)

吉野源三郎よしのげんざぶろう

戦後、雑誌編集者・評論家として活躍し、平和運動にも力を尽くした人ですが、その吉野が一九三九年に少年少女向けに『君たちはどう生きるか』という本を発表しています。この本は当時から、そしていまに至るまでたいへんよく読まれており、手1にされた方も多いいのではないのでしょうか。

これはコペル君というあだ名の中学生の物語です。この本のなかで作者がとくに問題にしたのは、自分を中心としてものごとを考えたり、判断したりする自己中心的なものの見方です。わたしたちはふだん、A お肉は好物で毎日でも食べたいが、野菜は口にしたくないとか、いつも楽しく話しかけてくれるあのクラスメートは好きだが、わたしのやることにいつも文句を言うてくるあの子とはもう顔を合わせたくないし、口もききたくないとか、自分を中心にするの2ことを見えています。地理にしても、わたしたちは自分の家を中心に、身近な周りの家々、住んでいる町や市などを同心円的に配置し、学校などの自分にとって必要な場所を結びつけた地図を頭のなかに入れていきます。

この小説に登場するコペル君の叔父おじさんは、コペル君があるときデパートの屋上から霧雨きりごめの降る街並み、道路の上を走る車や歩行者を眺めながら、世の中を大きな海に喩たとえれば、人間1というのは一つの「水の分子」かもしれない、と語ったことをたいへん大切なことだと考え、ノートにコペル君へのメッセージを書き記3します。かいつまんで言うと、自分を中心にして、自分の目に映るものだけを見ていては、ものごとの本質が見えなくなってしまう、大きな真理はそういう人の目には決して映らない、というのがそのメッセージです。

コペル君の経験に即して言えば、大きな海から自分を（一つの水の分子として）見つめ直すと、自分のいままで見えていなかった面が見えてくるということでしょう。それができたコペル君に、叔父さんはその大切さを強調したかったのだと思います。自分の思っていることや考えていること、B 自分の存在そのものを自分の視点からだけではなく、大きな視点から見るのがわたしたちにとって何より大切なのだというのは、作者である吉野自身の考えであつたとも言えます。

その「大きな視点から見る」というのは、具体的に言うと、どういうことを指すのでしょうか。C それは、単により多くのことを知るということではないと思います。また、ただ詳しく知ればよいということでもないと思います。他の人の立場に立つて考えるということでもありませんし、人間全体のことを（場合によっては地球全体のことを）考えて、どういう未来を作ったらいいかを考えることでもあると思われます。D それは知識の問題でもあります。ですが、それにとどまらず、自分の生き方そのものにも関わっています。よりよい社会のあり方について深く考え、その実現をめざして努力するということも含めて、吉野は「X」と問いかけたのだと思います。

この「③」のように生きるか」という問いは、哲学にとつても非常に大きな問題の一つです。そしてむずかしい問題です。簡単には答えには行きあたりません。

先ほど、自分を中心にしてものごとを見ていただけでは、その本質が見えなくなってしまうと言いましたが、E、自分を中心にしてものごとを見ること自体が悪いわけではありません。それは非常に大切なことです。④動物の子であれ、人間の子であれ、赤ん坊は生まれてすぐに母親のお乳を求めます。生きようとする意欲に満ちています。この自分のなか

31

30

29

28

27

26

25

24

23

22

21

20

19

18

17

16

15

からわきあがってくる意欲がわたしたちの成長を支えています。少し大きくなれば、子どもは言葉を覚えることにとっても大きな興味を示します。小学校に入学したときのことを覚えているでしょうか。子どもはそこで学ぶものに大きな関心を示し、次々に吸収し、自分の世界を広げていきます。やがてスポーツでも音楽でも、少しでもうまくなりたい、少しでも力をつけたいと考えるようになります。このよりよいものをめざす向上心がわたしたちを支えています。

わたしたちはわたしたちのなかにある生きる意欲に衝き動かされ、さまざまなことに取り組みます。さまざまなことにチャレンジし、自分の可能性を実現し、自分の世界を広げていきます。それは社会に出てからも変わりません。芸術の道に進んだ人は、自分の作品を通して、できるだけ多くの人に感動を与えたいと思うでしょう。農業に携わる人は、より品質の高いものを消費者に届けたいと努力しますし、会社に入って営業に携わる人はより多くの製品を販売して成績をあげたいと考えます。このようにして自分自身が、そして家族が豊かな生活を送れるようにがんばります。また自分の作品や仕事を通して社会に貢献したいと考えます。

このように日々を努力することはとても尊いことです。しかしここに<sup>⑤</sup>一つの大きな落とし穴が待ちうけています。わたしたちの生きる意欲が、欲望に変わってしまう可能性があるのです。生きる上でさしあたって必要でないものでも、目の前にあればそれを手に入れたい、それだけでなく、できるだけ多くのものを手に入れたいと思うようになっていきます。欲望の特徴は、いったんその対象になっているものを手に入れても、すぐにより多くのものを、より大きなものを追い求めようとする点にあります。欲望はいったん刺激されると、かぎりなく大きくなっていきます。わたしたちは欲望の連鎖<sup>⑥</sup>のなかに簡単にはまり込んでしまうのです。

欲望の連鎖のなかにはまり込んでしまうと、頭のなかで欲望追求のことでいっぱいになって、自分自身の中身が空っぽになってしまいますし、他の人を顧みる余裕もなくなってしまいます。要するに欲望の奴隷どれいになってしまうのです。自分を（あるいは自分だけを）中心にしてものごとを見ることの負の面がここに現れてきます。

それはわたし一人だけの問題ではありません。<sup>7</sup>現代はグローバル化の時代です。欲望の追求が世界規模でなされています。<sup>4</sup>なりふりかまわない利益追求で富を得る人とそうでない人のあいだに格差かくさが生まれています。あるいは利益の獲得をめぐって対立するグループのあいだに争いが生まれたりしています。自分の利益を守るために、自分のグループ以外の人たちを非難したり、排斥はいせいしたり、あるいは攻撃したりすることも多くなっています。そのような対立や争いの結果、世界のあちこちで貧困や飢餓きが、迫害などで苦しむ人が増えています。

いま世界ではそういったことが大きな問題になっています。わたしたちはここで立ちどまって考えなければならぬと思います。

先ほど『君たちはどう生きるか』という本との関わりで、大きな視点から見るのが大切なのだということを言いましたが、たとえば欲望5に振りまわされている自分を見つめ直すこともその一つだと言えるでしょう。<sup>8</sup>差別や偏見で苦しむ人々や、内戦などのために生きる術すべを失ったり、命を落としたりした人々のことを考えることもとても大切なことです。それも大きな視点から見ることの一例になるでしょう。

このような問題について考えるときに浮かびあがってくるのは、そもそもわたしたちは何のために生きているのか、という根本の問いです。わたしたちは何をめざして生きているのでしょうか。あるいは何をめざして生きていけばよいので

65

64

63

62

61

60

59

58

57

56

55

54

53

52

51

50

49

しょうか。

かなり以前、わたしがまだ大学に籍を置いていた頃でしたが、おもしろい話を耳にしたことがあります。出所は不明ですが、かなり広く知られていた話でした。ある日本の商社員がどこか遠い南の国に行つて、けんめいに働いていたら、現地の人から「なぜ毎日そんなにあくせくと働くのか」と尋ねられたという話です。それに対して、「良い成績を残し、昇進して、お金を貯めるためだ」と答えると、「お金を貯めてどうするのか」と尋ねられます。「退職後、どこか風景の美しいところに土地を買つて、別荘でも建てる」と答えますと、さらに「そうしてどうするのか」と問われます。「そこでハ  
ンモックでもつってゆっくり昼寝をする」と答えると、現地の人が、「われわれは最初からそうしている」と答えたとい  
う笑い話です。<sup>⑩</sup>

わたしたちであれば、「何のために働くのか」という問いを出されたとき、どう答えるでしょうか。みなさんもぜひ自分自身の問題として考えてください。

この問いや、「何をめざして生きてゆけばよいのか」という問いは、あらためて考えてみると、なかなかむずかしい問いで簡単には答えを見つけないでできません。ただ、誰であれ、自分の人生が意味のあるものであることを願うのではないのでしょうか。人生を終えるときに、自分の人生は生きるかいのあったものと言えたら、どんなによいでしょう。それは容易ではないかもしれませんが、できればそういう人生を歩んでみたいと思います。

(出典 藤田正勝『はじめての哲学』)

80

79

78

77

76

75

74

73

72

71

70

69

68

67

66

問一 〜〜線1〜5の言葉の本文中での意味として、最もふさわしいものを、それぞれ次のア〜エの中から一つ選び、

記号で答えなさい。(3、8、12、53、61)

1 手にする (3)

- ア 手を使ってものを調べること。
- イ 手を使ってものを持つこと。
- ウ 手を使ってものを探し求めること。
- エ 手を使ってものを追い求めること。

2 同心円 (8)

- ア 同じ中心点から大きさが異なる円が放射状に広がる形状のこと。
- イ 同じ半径を持つ円が同じ中心を共有している形状のこと。
- ウ 円形のもの階層状に配置されている形状のこと。
- エ 円形のもものが複雑に重なり合っている形状のこと。

3 かいつまんで言う (12)

- ア 詳細に説明すること。
- イ 強調して表現すること。
- ウ 短く要約して述べること。
- エ 感情をこめて語ること。

4 なりふりかまわない (53)

- ア 何もかも気にせず、無計画に行動することを指す表現。
- イ 注意深く計画を立てて行動することを示す言葉。
- ウ 優先順位を考えずに物事を選ぶことを意味する言葉。
- エ 常に他人の意見を尊重する態度を示す表現。

5 振りまわされる (61)

- ア 感情や気分が左右され、思考や行動が不安定になることを指す表現。
- イ 自分の目標や志向を追求し、欲望を達成するために行動することを示す表現。
- ウ 他人の意見や指示に無批判に従い、自己主張をしないことを示す表現。
- エ 願望や欲求の影響を受けて、意志や判断力が揺らぐことを指す表現。

問二 空欄

A

く

E

に入れるのに最もふさわしい言葉を、次のア～カの中からそれぞれ一つ選び、記号で

答えなさい。ただし、同じ記号は一度しか使えません。(5、17、20、23、29)

- ア あるいは
- イ たとえば
- ウ したがって
- エ むしろ
- オ おそらく
- カ もちろん

問三——線①「人間というのは一つの『水の分子』かもしれない」という表現はどのようなことを意味していますか。

最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。(11)

ア 人間は宇宙の一部であり、自分を微小な存在と感ずることがあること。

イ 人間は水分子のように微小で、他の要素から見落とされがちであること。

ウ 人間は自己中心的な視点に陥りがちで、他者の視点を忘れがちであること。

エ 人間は大きな真理を理解することが難しい存在であるということ。

問四——線②「自分のいままで見えていなかった面」とありますが、(15・16)

① 何を指していますか。本文中の言葉を使って二十字以内で答えなさい。

② また、その考え方が重要な理由は何ですか。説明しなさい。

問五 空欄( X )に入る言葉を本文中から抜き出しなさい。(25)

問六 —— 線③「どのように生きるか」という問題の重要性について、著者はどのように述べていますか。最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。(27)

ア 著者は、この問題が哲学的な議論において中心的なテーマであり、その答えが人生の意味を解明する鍵であると述べている。

イ この問題は哲学において深く探究されるべきであり、多くの哲学者がそれに対する異なる観点を主張していると著者は指摘している。

ウ 著者によると、この問題は哲学の中で長い間議論されてきたが、まだ決定的な答えは出ていないということを強調している。

エ 著者は、この問いが哲学の中で特に重要で複雑な問題であり、容易に答えを見つけることは難しいということを述べている。

問七 —— 線④「動物の子であれ、人間の子であれ、赤ん坊は生まれてすぐに母親のお乳を求めます。生きようとする意欲に満ちています。」とありますが、この例を通して著者は自己中心的な視点のどのような肯定的側面を示していますか。説明しなさい。(30・31)

問八 —— 線⑤ 「二つの大きな落とし穴」とありますが、それはどのようなものですか。本文中から二十字以内で抜き出してください。(43)

問九 —— 線⑥ 「欲望の連鎖」とありますが、欲望の連鎖が進むと、人々のどのような側面が失われがちであると述べられていますか。本文中から十字以内で抜き出してください。(47)

問十 —— 線⑦ 「現代はグローバル化の時代です。欲望の追求が世界規模でなされています。」とありますが、現代のグローバル化の時代における欲望の追求が、世界にどのような影響を与えていると述べられていますか。最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。(52・53)

- ア 経済的格差の削減      イ 平和と調和の増進      ウ 富の集中と対立の増加      エ 環境問題の解決

問十一——線⑧「その一つ」とありますが、何を指していますか。本文中から十字程度で抜き出しなさい。(61)

問十二——線⑨「おもしろい話を耳にしたことがあります」とありますが、「耳にした」という表現の説明として最

もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。(67)

ア 情報を積極的に探して知り得たことを示す。

イ 偶然に情報を聞いたこと、または知ったことを示す。

ウ 他人に強く推奨された情報を受け入れたことを示す。

エ 聞きたくない情報が耳に入ってきたことを示す。

問十三——線⑩「笑い話」とありますが、著者が紹介した日本の商社員と現地の人との笑い話は、本文のテーマとど

のように関連していますか。本文中の言葉を使って説明しなさい。(73)

問十四 ——線⑩「自分の人生が意味のあるものであることを願う」とありますが、著者が考える「意味のある人生」を歩むために重要ことについてまとめた次の文の空欄に入る適当な語を、漢字二字で答えなさい。(77)

著者は、「意味のある人生」を歩むためには、自分の行動や生き方が他人や社会にどのような(1)を与えるかを考え、より大きな(2)から物事を見ることが重要だと考えています。また、(3)を終えるときに「生きる価値があった」と言えるような生き方を目指すべきだと述べています。

問十五 吉野源三郎の著書『君たちはどう生きるか』において、特に何が大きな問題として強調されていますか。最もふさわしいものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 他人との協力が個人の幸福に寄与すること。
- イ 地理的な知識が個人の視野を拡大すること。
- ウ 社会的成功が個人の幸福に最も重要であること。
- エ 欲望と利益の追求が個人を自己中心的にすること。
- オ 自分の生きる意味と目的を明確にすること。

